

2026年7月10日

エアバス最新航空機市場予測、都市化と航空機の効率化が可能にする航空ネットワークの拡大によって航空輸送量が成長

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）はこのほど、最新の航空機市場予測「グローバル・マーケット・フォーカスト 2026-2045」（GMF）を発表しました。それによると、都市化と GDP の成長が長期的な旅客需要を牽引します。今後 20 年間で、都市化の波はより小規模な都市へと移行していく見通しです。中産階級や国外移住者が増え、さらに航空機の効率化や旅客輸送量の拡大も進むことで、経済的に成立する新たな都市間の路線が誕生するでしょう。航空は、高付加価値で市場への迅速な投入が求められる商品の輸送に不可欠であるだけでなく、世界中の人々を多様な理由で結びつけ、多くの地域コミュニティに経済的な生命線を提供しています。

航空ネットワークは分散化しつつあります。都市における人口移動を反映し、中小都市の数は大都市よりも大幅に速いペースで増加する見込みです。エアバスの GMF では、航空機の効率化が進むとともに、主要な幹線にとどまらず、中小都市間の路線へとネットワークが拡大していくと予測しています。リガ - テネリフェ線やメルボルン - アリススプリングス線などの路線は、A220 のような航空機で効率的に運航することが可能です。また、航続距離の向上により、新たな都市間路線が開拓され、直行便での接続が可能になっています。具体的には、リスボン - レシフェ線は A321neo、ダブリン - ナッシュビル線は A321XLR、アルジェ - クアラルンプール線は A330neo、そして台北 - フェニックス線は A350 で飛行することができます。

エアバスの製品戦略は、市場の需要を反映しています。約 9,000 機にのぼる記録的な受注残数に裏付けられており、A220 から A350 に至る全機種が生産計画（A320 ファミリーの月産 75 機計画を含む）を維持する基盤となっています。現在、A320 ファミリーの受注残の 70%以上を最大機種 A321neo および A321XLR が占めており、これらは新たな都市間路線での飛行に最適な機材です。より需要の大きい路線には A330neo が対応し、最長距離路線には A350 が対応します。また、A350 貨物機が、市場への迅速な投入が求められる貨物分野で非常に高い支持を得ています。

旅客輸送量は、堅調な成長を維持しています。2045 年までに、飛行機を利用する可能性が最も高い層である中産階級の人口は 14 億人増加（34%増）する見込みです。世界の旅客輸送量は力強い伸びを示しており、世界経済の成長や人々の旅行意欲と密に連動しています。過去のデータが示すように、地域紛争や燃料価格の高騰といった短期的な混乱が、長期的に需要を減退させることはありません。今後 20 年間で、世界的な GDP 成長率（2.6%）や、都市部の人口増加（13 億人増）、中産階級の拡大が進むことで、旅客輸送量は年 3.9%の成長率で拡大することが予測されます。2045 年までに、世界の航空輸送量は 2 倍以上に拡大し、年間旅客数は約 100 億人に達する見通しです。

アジア太平洋地域への経済シフトを反映し、需要も進化しています。インド、ベトナム、インドネシア、マレーシアなどの新興国における力強い成長により、航空輸送の傾向が変化しつつ

Follow usIf you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.comIf you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com

あります。顕著な変化としては、国境を越えた人の移動や親族・知人訪問を目的とした旅行の増加が挙げられます。

効率的な新型航空機への需要は引き続き旺盛です。今後 20 年間で航空機は経年機の入替えによって 19,820 機、成長への対応によって 22,240 機、合計 42,060 機が必要となります。そのうち単通路型機が 81%、ワイドボディ機が 19%を占める見通しです。これは、よりコスト効率が良く、CO₂排出削減に貢献する航空機への継続的な需要を反映しています。

機材更新と経年機の記録的な入れ替え需要が航空機の効率化を推進しています。コロナ禍後の機材の経年化により、代替需要が加速しています。特に、高い収益性を確保しながら旅客需要が比較的少ないより長距離の路線開設に対応する、燃料効率が高く柔軟性に優れた新世代の単通路型機およびワイドボディ機が好まれています。エアバスは、世界中の航空機に占める最新世代航空機の割合が、2026 年の約 39%から、2045 年にはほぼ 100%に達すると予測しています。

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com